

知ってそうで知らない

トンネルの作り方

(矢倉トンネルの場合)

① 準備

最初に測量をして、設備の配置を決め、トンネル回りを整えた上で、トンネルを掘るために使う機械を運びます。

② 掘る 削る

ドリルジャンボという機械で岩に穴を開け、そこに火薬を入れて爆破します。



③ ずり出し

掘っていくときに出る土や岩(ずり)はホイールローダーという機械でダンプトラックに積み込みトンネルの外に出します。



④ コンクリート吹付 支保工設置

せっかく掘った穴が崩れないようにコンクリートを吹き付けて固め、鉄製の支保工(内部を支える鉄枠)を組み立て、さらにコンクリートを吹き付けます。



⑤ ロックボルト

ボルトをトンネル内部から外に向けて埋め込み、地山の強度を高め、地山と一体化します。



⑥ 防水シート張り

トンネルの中の水漏れを防ぐため、防水シートを張ります。



⑦ コンクリート覆工

スライドセントルという型枠で10.5mごとにコンクリートを枠に流し込んでいきます。



⑧ 舗装

一般にアスファルトよりも耐久性に優れ、明るい色のコンクリートを使用して舗装します。

⑨ 設備工事

トンネル内の照明などを設置します。

⑩ 完成!



順調に進んでいます!

日野溝口線矢倉峠バイパス工事



トンネル工事現場を見学

日野県土整備局では、主要地方道日野溝口線のバイパス工事として、日野町と伯耆町を結ぶ「矢倉トンネル」の工事を行っているところです。

このたび、鳥取県と工事受注者の共催により、近隣の地元住民の皆様を対象とした工事現場見学会を平成25年6月23日(日)に開催し、46名の方にご参加いただきました。

今回の見学会では、日野町側の坑門入口から掘削最先端部までにある支保工(トンネル内部を支える鉄枠)や工事用車両の説明、工事で発生する濁水が環境基準を満たしているかの処理実験などを行いました。また、見学会の記念に、工事で使用する資

材にお絵かきをしてもらいました。

見学会では、トンネル工事に使う装置や機械の値段を聞き驚きの声を上げられたり、いたるところで写真撮影をされていました。

最後に参加者全員で記念撮影し、見学会は終了となりました。

平成27年3月全線開通

平成25年2月6日(水)に安全祈願祭を執り行ってから約5ヶ月。矢倉トンネルは同年7月9日(火)に無事貫通式を迎えました。

掘削中、地山が想定より脆い土質であったため掘削工法を一部変更することがありましたが、工事は比較的順調に進みました。今後は引き続き

き、トンネルを覆うコンクリートや坑門などの施工を進め、平成26年度末には全線開通の予定です。



問

日野県土整備局道路整備課 地方道路担当
電話085917212067